

研究指導の概要

■世界遺産学学位プログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等	
1 年 次	春	A	○新入生オリエンテーション：博士論文執筆にかかるスケジュールや研究方法（文献調査・現地調査・ヒアリング調査等）に関して学ぶ。
		B	○指導教員・所属研究室の決定：指導教員については入学試験時の希望を前提とするが、春学期終了時に学生に志望教員を再確認し決定する。
		C	○研究テーマの検討：指導教員とのディスカッションや、学位プログラムの教員による世界遺産論の講義や修論計画に関する発表への指導・助言を通じて研究テーマを検討する。 ◇関連授業科目の受講：必修科目である世界遺産論・世界遺産学入門と各自の研究テーマに基づく関連授業科目を選択的に受講する。
	秋	A	○研究の進行：指導教員とのディスカッションおよびゼミにおける研究発表や指導に基づき、研究に取り組む。
		B	◇関連授業科目の受講 ○修士論文構想発表会（2月前半）：研究の構想と進捗状況を発表し、学位プログラムの教員から指導・助言を得る。
		C	◆コンピテンス達成度調査（2月）
2 年 次	春	A	○研究の進行：指導教員とのディスカッションおよびゼミにおける研究発表や指導に基づき、研究を進展する。
		B	○修士論文ガイダンス（5月中旬）：修士論文の提出・審査にかかる提出書類や評価基準・評価項目、スケジュールについて学ぶ。
		C	◇関連授業科目の受講
	秋	A	○修士論文中間発表（10月頃）：修士論文の進捗状況を発表し、学位プログラムの教員からの指導・助言を得る。 ○中間発表における指摘事項を踏まえた研究を進め、論文執筆に取り組む。
		B	◆コンピテンス達成度評価（10月、12月にそれぞれ実施する） ◆修士論文題目確定（11月後半）
		C	◆修士論文提出（12月後半） ◆個別審査（1月前半、1回以上） ◆公開審査会（1月中旬）

○研究指導 ◇授業 ◆論文審査関係